

この3校の受賞は大変意義のあることと考えております。

今後、学校の教育力を高める教員の指導力や資質の向上を目指し、各種の研修活動を積極的に支援してまいります。

◎校区一体化

登別温泉小学校と登別小学校の校区一体化については、平成19年4月に向け、学校間交流や保護者、地域の交流を通して相互理解が深まるよう支援するとともに、校区拡大検討会議との協議を進めながら円滑に校区一体化が図られるよう努めてまいります。

重点項目②

生きる力を育む教育

確かな学力の向上については、子どもたちに基礎的・基本的な知識、技能を身に付けさせるとともに、学ぶ楽しさや好奇心を育むことが重要であります。

◎特色ある取り組みを支援

授業の充実のもとより、標準学力テストなどの資料を活用した指導方法の工夫改善、『総合的な学習の時間』の充実、『体験的な学習』や『問題解決的な学習』を充実させるなど、各学校の特色ある取り組みを支援してまいります。

◎教育用コンピュータを活用した授業

教育用コンピュータを活用した授

業については、子どもたちの情報活用能力を育成し、意欲・関心を高める指導を充実させるため、教育情報センターを中心に登別市情報教育推進協議会と連携しながら取り組んでまいります。



◎豊かな心の育成

豊かな心の育成については、他人を思いやる心や自律心、規範意識などを育むことが大切です。

このため、社会体験活動などを積極的に取り入れた特色ある教育活動を推進し、道徳教育の充実が図られるよう支援してまいります。

◎読書活動

豊かな感性や情操を育む上で大きな役割を担っている読書活動については、学校間の図書検索システムの活用や市立図書館との連携を促し、一層の充実が図られるよう働きかけてまいります。

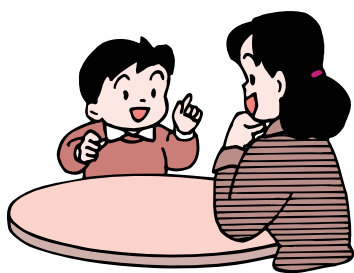
◎健康や体力づくり

たくましく生きるための健康や体力づくりについては、子どもたちが自ら健康を考え、自らの健康を守る態度を養うことが大切です。

各学校が家庭・地域と連携して取り組む薬物乱用防止教育や性に関する指導、歯や口の健康づくりとしての『フッ化物洗口』、給食センターと連携した『食に関する指導』などの推進を支援してまいります。

◎いじめ・不登校の対応

いじめ・不登校の対応については、校内における事例研修や各種対策会議の充実を図るとともに『スクールカウンセラー』や『心の教室相談員』の配置を継続するなど、早期発見、早期解決を目指した教育相談の充実を努めてまいります。



◎障がいのある児童生徒の教育

障がいのある児童生徒の教育については、平成19年度より一人ひとりのニーズに応じた適切な指導・支援を行う特別支援教育へ移行されますので、本年度は、校内委員会の設置

やコーディネーターの指名、関係機関との連携など、学校の取り組みを支援し、万全を期してまいります。

重点項目③

社会教育

本年3月に人づくりや生涯学習の振興をねらいとした『第3次社会教育中期計画』が成案を得ますので、この中期計画の基本目標に沿った各種施策の展開に努めてまいります。

◎青少年の健全育成

青少年の健全育成については、高度情報化などの進展により、子どもたちを取り巻く状況が著しく変容する中で、心と体の健全な発達を促すことが大切です。

このため、引き続き子どもも地域交流プラザや子ども会活動を支援し、のびのびと健やかに育つ環境づくりに努めてまいります。



▲子ども地域交流プラザが主催したふれあい農園・田植え